

## 実証事業ロゴマークの検討について

## 内容

○ H22 拡大 WG アンケート .....	1
○ H22 拡大 WG での審議 .....	2
○ ロゴマークに記載すべき項目（案） .....	4
○ ロゴマーク（案） .....	4
○ 参考 .....	6

## ○ H22 拡大 WG アンケート

表 1 新 ETV マークに記載すべきと考える項目  
(H22 年度実証申請者を対象としたアンケート結果)

項目	記載すべき	どちらでも よい	記載すべき でない
a. 分野名（ヒートアイランド対策技術分野 （建築物外皮による空調負荷低減等技術））	13	4	0
b. 実証番号	14	3	0
c. 第三者実証（ex.本技術は第三者による性能の 実証結果を公開しています）	10	7	0
d. 実証された年度	8	8	1
e. 実証機関名	11	5	1
f. 性能値（ex.遮へい係数、日射反射率）	5	7	5

記載すべきでない、と回答のあった項目を除外すると、以下の3点が掲載の対象となる。

1. 実証番号
2. 分野名（ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術））
3. 第三者実証（ex.本技術は第三者による性能の実証結果を公開しています）

## ○ H22 拡大 WG 会合での審議

拡大 WG 会合において審議された、性能値に係る議論の内容を抜粋し、以下に示す。

- ・性能値を掲載すべきである。
- ・性能値を掲載すると、
- ・マークに性能値を表記することによって、公平な比較ができなくなってしまうのであれば、性能値に関する表示はウェブ上で対応すればよいのではないか。
- ・明度と日射反射率だけを表示してしまうと、それだけが議論の対象となってしまう可能性がある。また、多くの数値を掲載してしまうと、実証事業ロゴマーク自体の存在が薄れてしまう可能性がある。

⇒上記の意見を受けて検討したところ、他分野との整合性も考慮した結果、性能値は掲載しないこととしたい。

拡大 WG 及びその事前アンケートでの意見を踏まえると、ロゴマークの記載事項の候補は、以下のように整理することができる。

表 2 共通ロゴマークへの記載事項

カテゴリー	記載事項	
共通ロゴマーク (必ず記載される項目 ⇒検討対象外)	「ETV」ロゴ	全て記載
	「環境省」の文字	
	「環境技術実証事業」の文字	
	事業 URL	

表 3 個別ロゴマークへの記載事項 (案)

カテゴリー	記載事項	掲載	
		可否	理由／課題
個別ロゴマーク (記載有無の検討対象)	分野名	要検討	・文字が多い。視認性の関係から、掲載するかどうか検討。
	第三者実証であること	要検討	・掲載は必須。表記の内容についての検討要
	実証番号	○	・昨年度より対応している
	実証機関名	要検討	・掲載することによるメリット
	実証年度	要検討	・JIS 認証品の出現との関係
	性能値	×	・他分野との整合 ・項目の抽出が困難 ・結果掲載による影響 等

## ○ロゴマークに記載すべき項目（案）

これらの結果に基づき、H22 年度第 3 回 WG 会合に代わるメール審議を行った際に各委員から出された意見を踏まえ、3 月末に開催された平成 22 年度環境技術実証事業検討会での議論も考慮しつつ、以下のとおり個別ロゴマークの記載事項に関する案をまとめた。

- ・「分野名」

対象技術分野を判別し、実証試験結果報告書にたどり着くための情報としても必要であるため記載するが、表示スペースの関係から「ヒートアイランド対策技術分野」までとする。なお、ヒートアイランド対策技術分野の他分野とも整合をとった表現としている。
- ・「実証番号」

平成 21 年度の結果も実証番号入りのロゴマークを交付済みであることから、引き続き実証番号は必要である。個別の番号を記すことにより個別ロゴマークとしての価値を高められるほか、実証試験結果報告書へのアクセスを高めるための基本情報としても必要である。
- ・「実証年度」

本分野では、将来 JIS 等で認証された製品が出てくることや製品開発のサイクルが短いことを考慮し、実証年度を示すことが必要と考えられる。
- ・「第三者が実証した性能を公表していること」

本事業の特徴である「第三者機関が実証し、その性能について報告書として公表している」旨をユーザー等に示すものであり、実証事業及び実証された技術の普及の観点から本分野においても記載が必要と考えられる。
- ・「保証・認証・認可等を謳うものではないこと」

本分野では類似の認証制度等が存在し、ユーザー等に誤解を与える可能性が高く、また、実際に認証・認定を謳うような事例が発覚していることを踏まえ、本事業やロゴマークについて正しい理解を広めるため、他の公的マークとは異なる旨をきちんと明記したほうが良いとの意見がメール審議で出された。そのため、過去の環境技術実証事業実施要領で規定されていた「環境技術実証事業の名前やロゴマークの使用は、この技術やその性能に関して、環境省等による保証・認証・認可等を謳うものではない」という旨の注意書きの文言を個別ロゴマークに記載すべきであるかどうか検討が必要である。

なお、ロゴマークの使用機会拡大を目的として、平成 23 年度版環境技術実証事業実施要領ではこれらの表現は削除したほか、環境省環境技術実証事業 WEB サイトでは今後トップページを改編し、実証の持つ意味や認証とは異なる旨について説明を加える予定である。

また、H22 年度拡大 WG 会合では、個別ロゴマークの大きさについて以下の意見があったことを踏まえ、判別性も考慮して検討することとした。

- ・ カタログ等に掲載される H21 年度に実証済み技術に対し交付した個別ロゴマークを見ると、2～3cm 角の大きさで使用しているケースが多いように見受けられる。その寸法で項目を記載すると個別ロゴマークの判別性が低くなる可能性が高い。

次ページには、以上の内容を踏まえた個別ロゴマークの案と記載項目の関係を示す。

○ ロゴマーク（案）

表 4 個別ロゴマークの案と記載項目の関係（縦型）

No	分野名※1	実証番号	第三者機関実証性能公表の旨※2	保証・認証等ではない旨※3	実証年度	URL	個別ロゴマーク（例）	表内記載寸法
1	○	○	○	×	○	○		幅 35.0 × 高さ 38.1
2	○	○	×	○	○	○		幅 35.0 × 高さ 43.3
3	○	○	○	○	○	○		幅 35.0 × 高さ 46.8

※1：分野名は、他の技術分野と記載を合わせた。

※2：『第三者機関が実証した性能を公開しています』は、環境技術の普及を推し進めるロゴマークの本来の意図と同じ価値を持つ。

※3：平成 21 年の本事業の実施要領に記載の言葉だったため、平成 21 年度の個別ロゴマークに採用したが、平成 23 年度の実施要領からは削除された。ロゴマーク使用指針の違反を防止するための注意書きで、※2の文言とは価値が異なる。

表 5 最小条件での個別ロゴマークのサイズ（縦型）

No	1	2	3
表 4 の個別ロゴマーク			
寸法	幅 23.0×高さ 25.1	幅 23.0×高さ 28.4	幅 23.0×高さ 30.7

表 6 個別ロゴマークの案と記載項目の関係 (横型)




No	分野名※1	実証番号	第三者機関実証性能公表の旨※2	保証・認証等ではない旨※3	実証年度	URL	表内記載寸法
1	○	○	○	×	○	○	幅 105.5×高さ 25.0
	個別ロゴマーク (例)						
							
2	○	○	×	○	○	○	幅 91.2×高さ 25.0
	個別ロゴマーク (例)						
							
3	○	○	○	○	○	○	幅 89.2×高さ 25.0
	個別ロゴマーク (例)						
							

※ 1 : 分野名は、他の技術分野と記載を合わせた。

※ 2 : 『第三者機関が実証した性能を公開しています』は、環境技術の普及を推し進めるロゴマークの本来の意図と同じ価値を持つ。

※ 3 : 平成 21 年の本事業の実施要領に記載の言葉だったため、平成 21 年度の個別ロゴマークに採用したが、平成 23 年度の実施要領からは削除された。ロゴマーク使用指針の違反を防止するための注意書きで、※ 2 の言葉とは価値が異なる。


表 7 最小条件での個別ロゴマークのサイズ

No 1	No 2	No 3
		
幅 50.6×高さ 12.0	幅 43.7×高さ 12.0	幅 42.8×高さ 12.0

○ 参考

参考として、平成 21 年度の実証申請者に交付されたロゴマークを以下に示す。


表 8 昨年度交付されたロゴマークと記載項目の関係 [参考]

No	分野名※1	実証番号	第三者機関実証性能公表の旨※2	保証・認証等ではない旨※3	実証年度	URL	個別ロゴマーク (例)	表内記載寸法
1	×	○	×	○	×	○		幅 35.0 × 高さ 33.7

○ 実証試験結果報告書で掲載される場合の見え方の確認

表 9 実証試験結果報告書での掲載

No.	縦配置 (詳細版表紙) 高さ 62mm	横配置 (概要版 1 ページ目左上) 高さ 18mm
1		
2		

<p>3</p>	<p>環境技術 実証事業</p>  <p>ETV 環境省</p> <p>ヒートアイランド対策技術分野 実証番号 051 - AAB</p> <p>第三者機関が実証した 性能を公開しています</p> <p>実証年度 H XX</p> <p><a href="http://www.env.go.jp/policy/etv">www.env.go.jp/policy/etv</a></p> <p>本ロゴマークは、本技術及びその性能 に関して、環境省等による保証・認証・ 認可等を謳うものではありません。</p>	<p>環境技術 実証事業</p>  <p>ETV 環境省</p> <p>ヒートアイランド対策技術分野 実証番号 051 - AAB</p> <p>第三者機関が実証した 性能を公開しています</p> <p>実証年度 H XX</p> <p><a href="http://www.env.go.jp/policy/etv">www.env.go.jp/policy/etv</a></p> <p>本ロゴマークは、本技術及びその性能に 関して、環境省等による保証・認証・認可等 を謳うものではありません。</p>
----------	---	--